

夜間ゼミ

野菜栽培の基礎

目的

農業をはじめめる人は野菜が多いので

- ・ 何の野菜を作るのか（品目選び）
- ・ どこで野菜を作ればいいのか（場所）

このように迷っている人に参考になる内容

夜間ゼミ 野菜栽培の基礎編

1. 野菜生産の現状と岐阜県の野菜栽培

野菜の基本について、岐阜県の野菜生産(どこで何を作るか)

2. 野菜(植物)の生理生態

野菜も植物、植物の基本を知らなくて野菜は作れない

3. トマト栽培の基礎

野菜のNo.1、その魅力と栽培方法

4. いちご栽培の基礎

みんな大好きな野菜?、でも作ると難しい

5. その他の果菜類など

岐阜県で栽培されている代表的な野菜(果菜類)の栽培方法

6. 葉菜類、根菜類など

岐阜県で栽培されている代表的な野菜(葉菜、根菜)の栽培方法

1. 野菜生産の現状と岐阜県の野菜栽培

1) 野菜生産と利用方法

「野菜とは」 辞書: 食用とする植物の総称。青物、蔬菜

- 食用の草本植物
- 主には、根、茎、果実を利用
- 副食として食べられるもの



野菜の定義

野菜と果物の分類については、はっきりした定義はなく、国によっても、生産・流通・消費などでも違う。

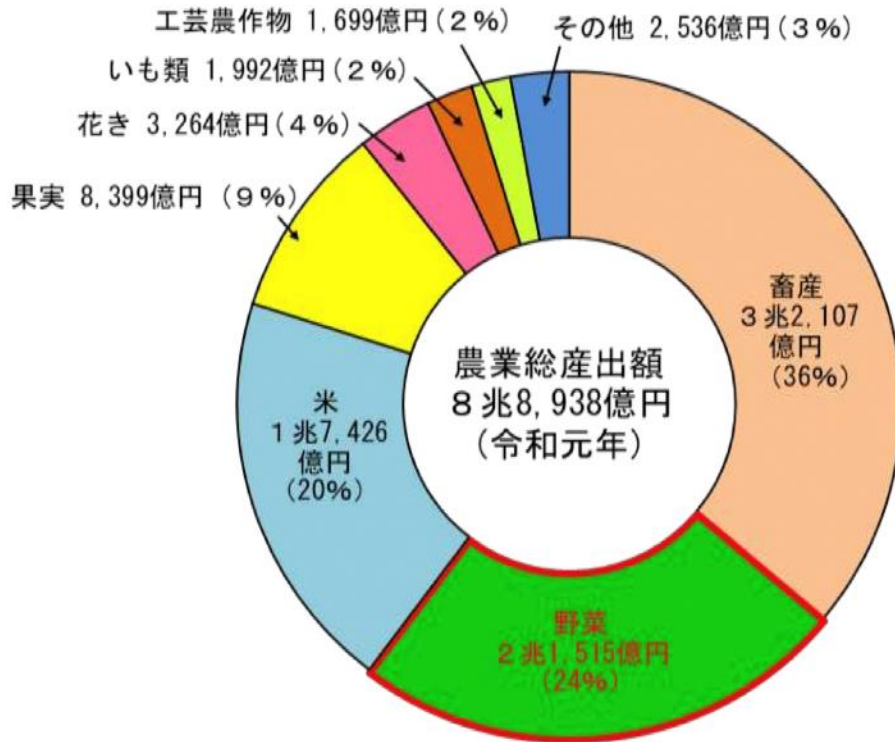
●生産分野の一般的考え

1. 田畑に栽培されること
2. 副食物であること
3. 草本性であること

| | | | |
|-------------|-----|-----|-------|
| | トマト | いちご | じゃがいも |
| 野菜生産統計(農水省) | 野菜 | 野菜 | 野菜 |
| 食料需給表(農水省) | 野菜 | 果物 | いも類 |
| 家計調査(総務省) | 野菜 | 果物 | 野菜 |

2) わが国での野菜生産状況

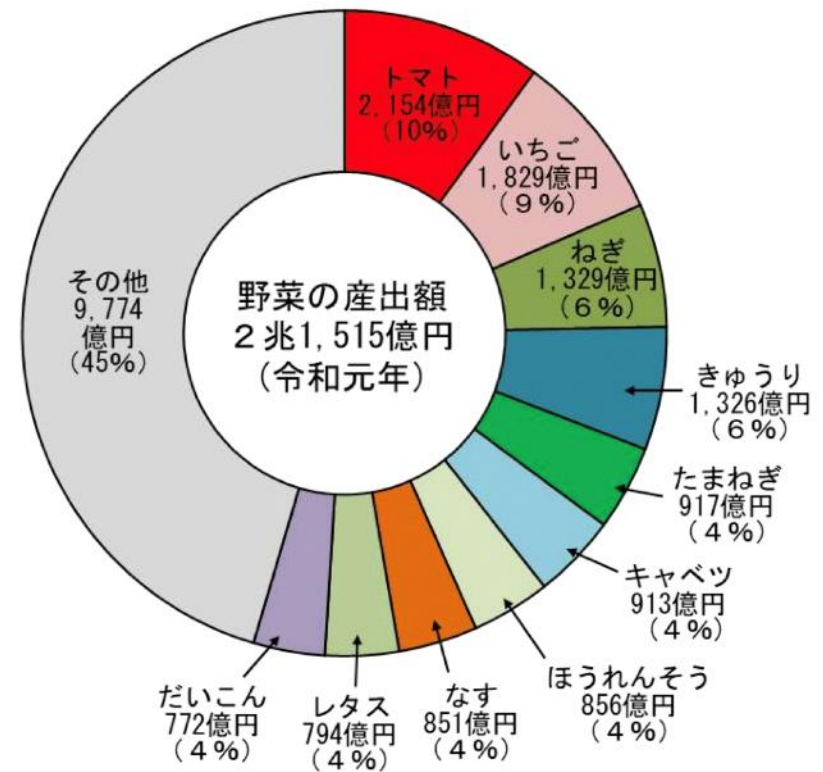
○ 我が国の農業総産出額(令和元年)



資料:農林水産省「生産農業所得統計」

加工前の純粋な農産物の売上

○ 野菜の産出額の品目別割合(令和元年)



10品目くらいで半分以上を占める

3) 野菜の栽培と利用の広がり

① 野菜の役割と利用

野菜は、私たちの食生活をゆたかにし、健康を維持するうえでなくてはならないもの。

- ・世界で利用されている野菜 800種以上
- ・日本で利用されている野菜 150種

② 野菜の栽培と利用の歴史

- ・紀元前5,000～6,000年ころから栽培化

地中海沿岸や南米、中国など文明の発達した地域で発達
1500年代以降に世界的な農作物品種の交換が始まった。

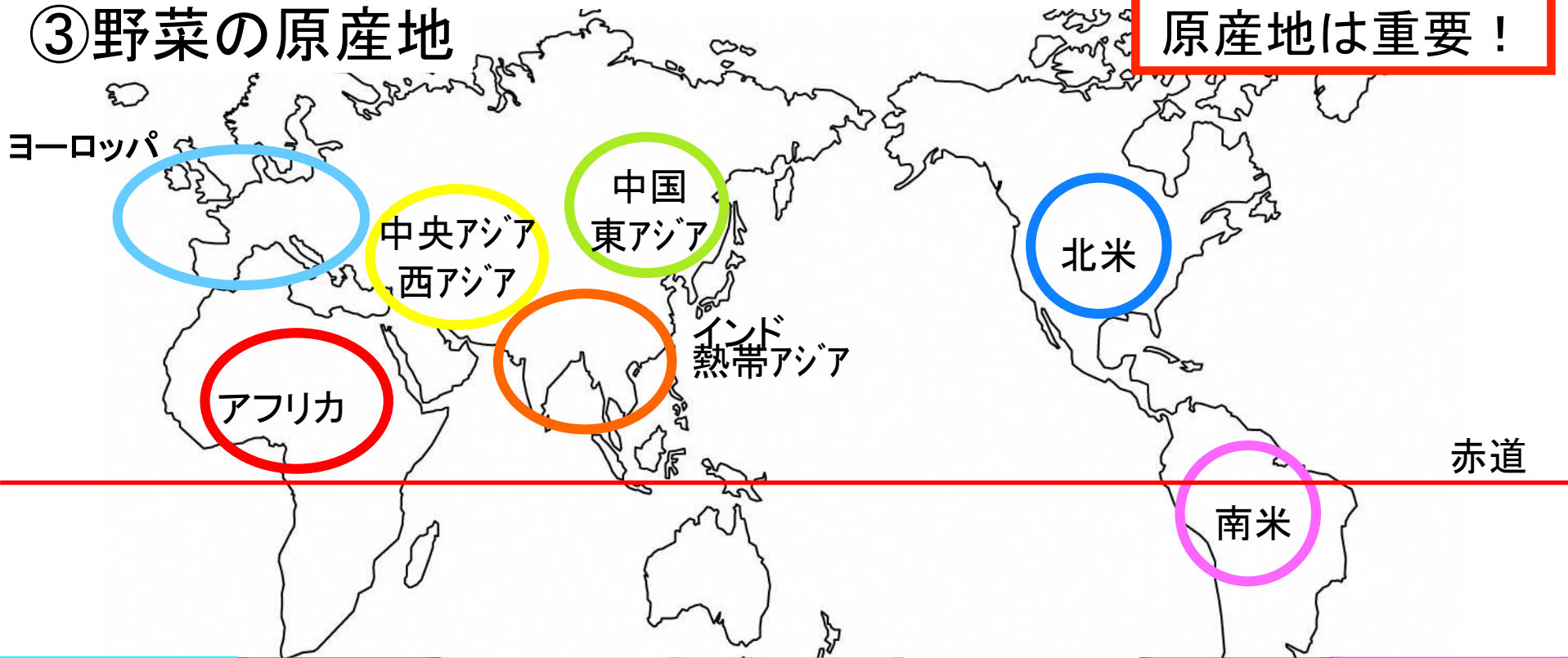
- ・日本では、稲作が普及した縄文から弥生時代

ほとんどの野菜は海外(中国など)から渡来してきた

日本原産の野菜は十数種類のみ(フキ、ミョウガ、ミズナ、山菜)

③野菜の原産地

原産地は重要！



| ヨーロッパ | アフリカ | 中央アジア 西アジア | インド 熱帯アジア | 中国 東アジア | 北米 | 南米 |
|---|----------------------------|--------------------------------|--|--|-----------------------|---|
| アスパラガス, キャベツ,レタス, シュンギク,カブ ブロッコリー ゴボウ | ササゲ スイカ オクラ モロヘイヤ | エンドウ ソラマメ ニンジン ホウレンソウ | サトイモ,シソ,ショ ウガ,ナス,キュウ リ,コンニャク,サ イモ,マクワウリ | カブ,ニラ,ネギ, ハクサイ,ダイズ (エダマメ) チンゲンサイ,シソ | インゲンマメ イチゴ キクイモ | トマト,ジャガイモ, イチゴ,トウモロコシ, トウガラシ,ピーマン ,サツマイモ |

4) 野菜の特徴

① 野菜の分類

利用部位別分類

- ・葉菜類: 葉を利用する野菜

キャベツ、レタス、ホウレンソウ

- ・根菜類: 地下部の根や茎を利用する野菜

ダイコン、ニンジン、ジャガイモ

- ・茎菜類: 茎を利用する野菜

アスパラガス、ウド、フキ、タケノコ

- ・果菜類: 果実や種子を利用する野菜

トマト、ナス、キュウリ、イチゴ



②品種

a. 品種形態 (野菜は同じ種類でも特性が異なる品種がある)

- ・早晩性: ふつう、早生、中生、晩生
そうばんせい わせ なかて おくて
- ・耐寒性や耐暑性、病害虫抵抗性などの生態型による品種
- ・利用器官の食味などの異なる品種

b. 野菜の改良

- ・多くの野菜は、海外原産で世界各地から渡来した。
- ・古くは中国などアジア大陸から、19世紀からは欧米から導入
- ・各地に入ってきた野菜は、その土地に適応し在来種となる

c. 栽培化・改良による野菜の変化と特徴

野生植物 → 品種改良 → 野菜

- ・おいしくてたくさん収穫が可能 (しかし病気に弱い)

③植物的分類

- ・アブラナ科(キャベツ、ダイコン、コマツナ、カブ、ブロッコリー)
- ・ウリ科(カボチャ、キュウリ、スイカ、メロン)
- ・キク科(ゴボウ、シュンギク、レタス)
- ・ナス科(トマト、ジャガイモ、ナス、ピーマン、トウガラシ)
- ・ネギ科(タマネギ、ニラ、ニンニク、ネギ、ラッキョウ)

栽培のポイント

- ①原産地の気候にあった栽培環境を作る
- ②植物的分類(〇〇科)の特性にあわせる
- ③利用部位にあわせた栽培方法(葉、根、果実など)
- ④品種の特性にあわせた栽培方法

5) 全国の野菜生産状況

(参考2) 野菜の産出額(令和元年)

(単位:億円)

| 都道府県 | 産出額 | 順位 | 都道府県 | 産出額 | 順位 | 都道府県 | 産出額 | 順位 |
|------|------------|----|------|-----------|----|------|-----------|----|
| 北海道 | 1,951(10%) | 1 | 石川 | 97 | 44 | 岡山 | 205 | 33 |
| 青森 | 642 | 13 | 福井 | 81 | 46 | 広島 | 236 | 31 |
| 岩手 | 259 | 28 | 山梨 | 110 | 41 | 山口 | 148 | 35 |
| 宮城 | 265 | 27 | 長野 | 818 | 7 | 徳島 | 349 | 19 |
| 秋田 | 281 | 26 | 岐阜 | 323 | 23 | 香川 | 242 | 30 |
| 山形 | 460 | 16 | 静岡 | 607 | 14 | 愛媛 | 190 | 34 |
| 福島 | 438 | 18 | 愛知 | 1,010(5%) | 5 | 高知 | 715 | 10 |
| 茨城 | 1,575(7%) | 2 | 三重 | 139 | 38 | 福岡 | 702 | 11 |
| 栃木 | 784 | 9 | 滋賀 | 106 | 42 | 佐賀 | 335 | 21 |
| 群馬 | 912 | 6 | 京都 | 248 | 29 | 長崎 | 453 | 17 |
| 埼玉 | 796 | 8 | 大阪 | 136 | 39 | 熊本 | 1,220(6%) | 4 |
| 千葉 | 1,305(6%) | 3 | 兵庫 | 348 | 20 | 大分 | 309 | 25 |
| 東京 | 121 | 40 | 奈良 | 104 | 43 | 宮崎 | 661 | 12 |
| 神奈川 | 333 | 22 | 和歌山 | 144 | 37 | 鹿児島 | 532 | 15 |
| 新潟 | 317 | 24 | 鳥取 | 213 | 32 | 沖縄 | 146 | 36 |
| 富山 | 56 | 47 | 島根 | 94 | 45 | 合計 | 21,515 | |

注: ()内は野菜の産出額の合計に占める割合。

資料:農林水産省「生産農業所得統計」

6) 岐阜県の野菜産地

高冷地・中山間

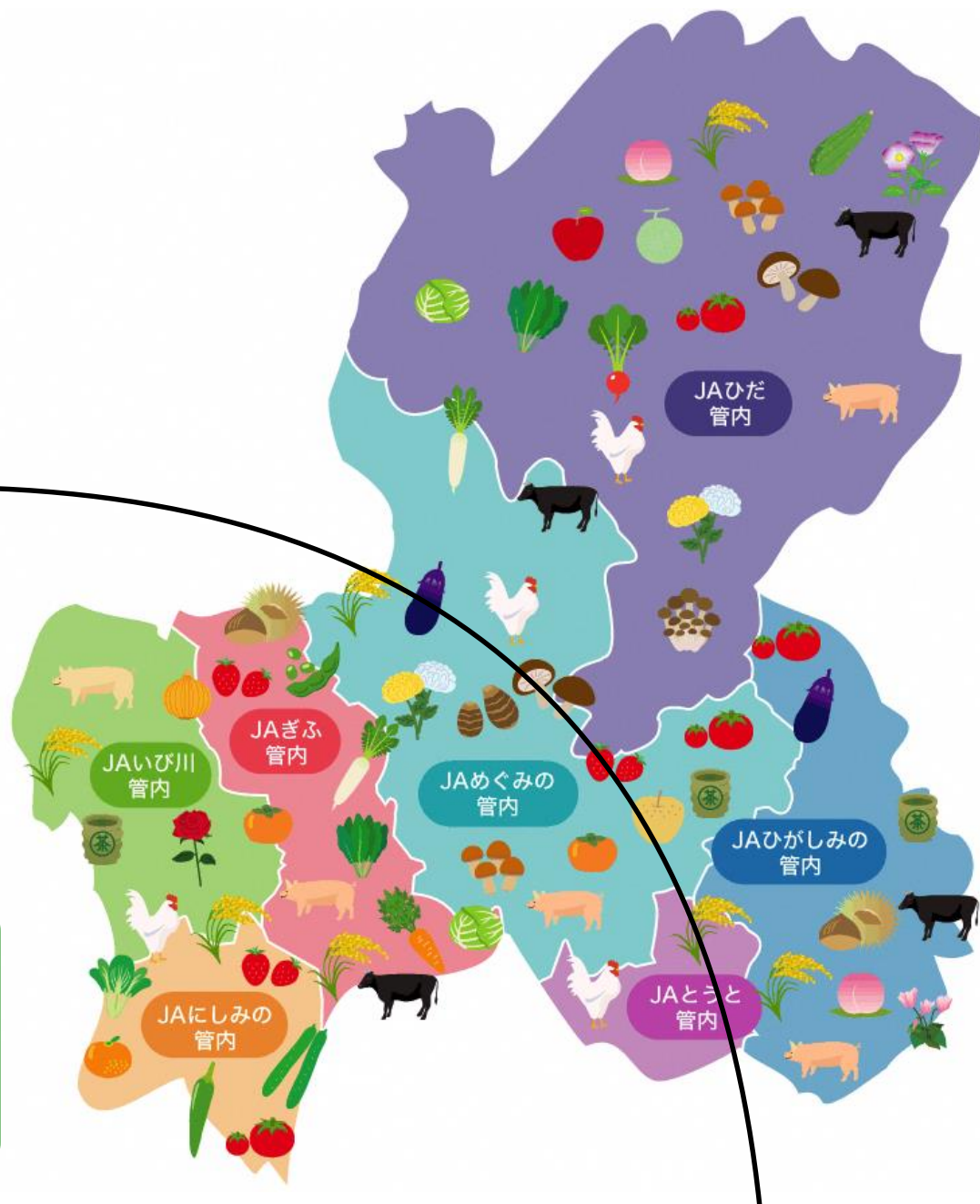
(飛騨・東濃・郡上・白川)

夏秋トマト、夏ホウレンソウ
夏ダイコン、赤カブ
夏秋ナス、メロンなど

平坦部

(岐阜・西濃・中濃)

いちご、冬春トマト、コマツナ
キュウリ、ニンジン、エダマメ
ダイコン、アスパラガス
キャベツ、ブロッコリー



まとめ

野菜とは、どのようなものか
どのような特徴があるのか

岐阜県の野菜生産

参考書：「野菜栽培の基礎」（農文協）

次回以降

2 野菜（植物）の基本

3～6 岐阜県で作られている野菜栽培
具体的な野菜の栽培方法